

豊高第80号
平成29年5月17日

埼玉県内各高等学校長 様

埼玉県高等学校軽音楽連盟会長 鈴木 雅士
(埼玉県立豊岡高等学校長)

第7回埼玉県高等学校軽音楽コンテストの開催について(依頼)

軽暑の候、貴校におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃から軽音楽系部活動の振興及び当連盟の活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の大会について、下記のとおり開催します。本大会は、全国高等学校軽音楽コンテストにつながる大会として、当連盟への加盟の有無を問わず、毎年、大変多くの学校に御参加いただいているところです。各学校におかれましては、部活動の成果発表の場としての本大会の目的を御理解いただき、貴校軽音楽系部活動生徒並びに関係職員の派遣について、格別の御配慮を賜りたくお願い申し上げます。

なお、別紙実施要項を顧問様にお渡しいただくとともに、「部活動状況調査アンケート」についても御協力をいただければ幸いと存じます。

記

- 1 日程・会場 予選ライブ 平成29年7月23日(日) (東会場) 県立草加東高等学校
(西会場) 埼玉平成高等学校
(南会場) 県立川口工業高等学校
決勝ライブ 平成29年8月3日(木)～8月4日(金)
市民会館おおみや大ホール
上位2校が全国高等学校軽音楽コンテストに参加できます。
(平成29年8月18日～19日パルテノン多摩 大ホール)
- 2 参加申込み 提出締切 平成29年7月5日(当日消印有効)
実施要項に従い参加費の納入やエントリー等の手続きを期限内に完了するよう
ご協力をお願いします。
(提出及び問い合わせ等は、下記の事務局へお願いします。)
- 3 「部活動状況調査アンケート」について
当アンケートは、差し支えない範囲でのご記入で結構です。頂いた情報は、本連盟で厳重に管理し、回答を頂いた学校に限り、個人情報(担当教科、電話、メールアドレス)を除き、部活動の状況についての集計結果を郵送いたします。なお、これまでに回答されている場合には、更新された顧問氏名、部員数などを中心に記入いただき、他の項目は空白でかまいません。よろしく願いいたします。

埼玉県高等学校軽音楽連盟事務局
県立川口工業高等学校内 黒川治義
〒333-0846 埼玉県川口市南前川1-10-1
TEL 048-251-3081 FAX 048-250-1252
E-mail kurokawa.haruyoshi.81@spec.ed.jp
連盟HP <http://music.geocities.jp/keionsaitama/>

平成 29 年 5 月 17 日

埼玉県高等学校軽音楽系部活動顧問 様

埼玉県高等学校軽音楽連盟会長 鈴木 雅士
(埼玉県立豊岡高等学校長)

第 7 回埼玉県高等学校軽音楽コンテストについて

埼玉県高等学校軽音楽連盟による部活動アンケートへのご協力依頼

薫風の候、貴校におかれましては益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

標記の件につきましてご案内申し上げます。

予選をライブ形式で実施しておりますので、参加者には必ずライブ演奏する機会が与えられます。また、決勝会場は「市民会館おおみや大ホール」になり、より大きい舞台での演奏となります。貴校軽音楽系部活動からのコンテストへのご参加をお待ちしております。決勝の観客席数は約 1 3 0 0 席あります。入場無料となっておりますので是非とも部全体で会場に応援にお越しくください。なお、この大会での上位 2 校は全国高等学校軽音楽コンテストに出場する権利が与えられます。つきましては、別紙要項をご覧ください、7 月 5 日(水) 消印有効で参加申込み書類の郵送をお願いします。

また、標記のアンケートへのご協力もお願いいたします。頂いた情報は本連盟で厳重に管理します。アンケートの回答を頂いた高校に限り、個人情報（担当教科、電話、メールアドレス）を除いた部活動についての集計結果を郵送致します。なお、これまでに回答されている場合には、更新された顧問氏名、部員数などを中心に記入いただき、他の項目は空白でも結構です。宜しくお願い致します。

[参加申込関係書類提出先、大会関連、連盟一般の問い合わせ先]

埼玉県高等学校軽音楽連盟 事務局 川口工業高等学校内（事務局長：黒川治義）

〒333-0846 埼玉県川口市南前川 1-10-1

TEL 048-251-3081 FAX 048-250-1252

E-mail kurokawa.haruyoshi.81@spec.ed.jp

連盟 HP <http://music.geocities.jp/keionsaitama/>

(大会結果、修正事項等を逐次通知する)

第7回 埼玉県高等学校軽音楽コンテスト 実施要項 (案)

- 1 目的：埼玉県高等学校における軽音楽系部活動に所属する生徒に発表の場を与えると共に、各校軽音楽系部活動の活性化を図る。
尚、当コンテストにおける上位2グループは、全国高等学校軽音楽コンテストに出場する権利を有する。

- 2 主催：埼玉県高等学校軽音楽連盟

共催：公共財団法人 さいたま市文化振興事業団

- 3 日程及び会場：

| 期 日 | 行 事 | 会 場 他 |
|---------|-------------------|---|
| 7/5(水) | 参加申込関係書類大会参加費振り込み | 県立川口工業高等学校 黒川治義 宛 ※当日消印有効 |
| 7/23(日) | 予選ライブ | 東：県立草加東高等学校 西：埼玉平成高等学校 南：県立川口工業高等学校 |
| 8/3(木) | 会場設営・リハーサル | 市民会館おおみや 大ホール |
| 8/4(金) | 決勝ライブ | 市民会館おおみや 大ホール |
| 8/18(金) | 全国大会リハーサル | パルテノン多摩 大ホール |
| 8/19(土) | 全国大会 | パルテノン多摩 大ホール |

- 4 大会出場資格：

- (1) 埼玉県高等学校内の軽音楽系部活動（同好会、愛好会等も含む）に所属。一人での参加も可。同一経営学園内の中学校生徒は、その生徒が所属するバンドに高校生が含まれていればその大会出場を認める。
- (2) グループ(バンド)内のすべてのメンバーが同一部活動内に所属していること。同じ高校内で複数の軽音楽系部活動がある場合に加え、同一キャンパス内の全日制、定時制、通信制に属する部活は各々、別団体と扱い、同時出場が可能である。ただし、双方の部活生徒と一緒に同じバンドを組むことはできない。
- (3) 高校入学後 3 年以内の生徒であること。ただし、埼玉県大会においてのみ定時制高校生徒に限り入学後 4 年以内の生徒とする。
- (4) 予選ライブ、リハーサルも含め、集合から解散まで出場バンドメンバー全員が出席すること。また 1 団体につき 1 人以上顧問教員(同一校の教員であれば代理可)が必ず引率すること。

5 参加規程及び注意事項：

- (1) 1 団体 1 バンドとする。ただし、連盟加盟団体に限り、一方のバンドがオリジナル曲で参加の場合、2 バンド目の出場を認める。その場合の 2 バンド目の曲は、オリジナルでも既存曲でも自由とする。なお、同一人物の複数バンドへの掛け持ちは禁止とする。この場合のオリジナル曲とは参加バンドメンバーが作詞、作曲をしたものとする。
- (2) 1 バンドにつき 1 曲の演奏とする。オリジナル曲の場合、歌詞カード&コンセプト記入用紙に歌詞も記入する。既存曲も含めて内容が高校生として不適切と思われる場合、内容の修正を求めることがあるので、顧問が内容をよく吟味すること。
- (3) シーケンサー等を使用しての打ち込み演奏は禁止とする。
- (4) 演奏時間は、1 バンド 5 分以内とする。演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする。
- (5) エントリー用紙提出以降の曲目の変更、メンバーの追加は一切認めない。予選ライブに限り、止むを得ない場合のメンバー変更は認めるが、規定の期日までに事務局へ申し出ること。

[平成 29 年 7 月 21 日 (金) 午前 10:00 まで]

なお曲目の変更およびメンバーの追加があった場合、または上記の期日を超えてメンバー変更があった場合には演奏は可能であるが受賞対象外となる。

- (6) 決勝ライブにおいて、予選ライブからの曲目の変更、メンバーの追加およびメンバーの変更は体調不良の場合も含めて一切認めない。
- (7) 当日、会場までの行き帰り、会場内での服装は各参加校の服装規定に準ずる。また、ステージ上での衣装着用は認めない。なお会場校の服装規定などにより各参加校に整容面での配慮を要請する場合がある。全国大会出場に当たっては整容面等に指導が入ることがある。
- (8) 応援、見学の生徒も含めて、高校生としてふさわしくない行為があった場合、その学校のバンドを失格とすることがある。また、該当する高校の次大会以降の出場を停止することがある。
- (9) 予選ライブの会場の振り分けは、地域性その他を考慮してコンテスト運営委員が決定する。(1 校 2 バンドの場合同一会場に調整する。)
- (10) 天候不良や災害によって演奏による審査が不可能になった場合、各校にバンド演奏を録画した DVD の提出を求めることがある。(DVD による映像審査にて上位大会進出バンドを決定する。)

6 参加申込み手続き

(1) 参加費の納入：

連盟加盟校は 1 バンドにつき 3,000 円、非加盟校は 5,000 円を下記の郵便口座に納入する。その際、通信欄に学校名と部活名を記載すること。

| |
|---|
| 郵便振替口座 口座番号 00180-8-441500 加入者名 埼玉県高等学校軽音楽連盟 |
|---|

- (2) 必要書類：ア. エントリー用紙①(第 7 回埼玉県高等学校軽音楽コンテスト参加申込書)
イ. エントリー用紙②(歌詞カード&コンセプト用紙) ※歌詞は枠内に収めること
ウ. エントリー用紙③(連盟加盟団体は 1 バンドにつき 3000 円、非加盟団体は 1 バンド 5000 円を振り込んだ納入証明・領収書の原本またはコピーを添付する)

(3) 提出期限：平成 29 年 7 月 5 日(水) 当日消印有効

(4) 提出先：

(郵送にて) 埼玉県立川口工業高等学校 黒川 治義
〒333-0846 埼玉県川口市南前川 1-10-1

7 予選ライブ

期日：平成 29 年 7 月 23 日(日) 9:30～17:00

場所 東会場：県立草加東高等学校

西会場：埼玉平成高等学校

南会場：県立川口工業高等学校

※本番時間は入れ替えこみで 1 校あたり 8 分としてタイムテーブルを組む

※事前のリハーサルはなし。演奏直前に簡単な音出しをしてバランスチェックをする。

※出場バンド数により、時刻が予定と前後することがありうる。

- ①審査員は 3 名とし、音楽系の企業、専門家などに依頼する。
- ②審査において「演奏技術」・「一体感」・「アレンジ力」・「個性や表現力」が評価の観点になる。
- ③各会場上位 7 バンド程度が、決勝ライブに出場することができる。
- ④審査結果は連盟 HP に公表する。
- ⑤参加バンドすべてへ審査員によるコメント用紙を渡す。
- ⑥決勝ライブに参加辞退があった場合、繰り上げで次点のバンドへの参加依頼をすることがある。
- ⑦予選ライブにおいて応援・見学は会場規模の関係上できない。

※その他、会場使用方法などについては、プログラムが決まり次第、後日該当校に要項が送られる。
予選ライブ会場ごとの指示に従うこと。

8 決勝ライブ日程：平成 29 年 8 月 3 日(木) 11:30～17:00 (リハーサル)

平成 29 年 8 月 4 日(金) 9:30～17:00 (決勝ライブ)

※本番時間は入れ替えこみで 1 校あたり 8 分として計算

※リハーサルについては、本番と同じ順番で行う。詳細な時程等は決勝ライブ進出バンド顧問にメールにて連絡する。

場 所：市民会館おおみや（JR 大宮駅(東口)から徒歩約 11 分)

〒330-0844 埼玉県さいたま市大宮区下町 3-47-8 TEL 048-641-6131

- ①審査員は 5 名とし、音楽系の企業、専門家に依頼する。
- ②審査において「演奏技術」・「一体感」・「アレンジ力」・「個性や表現力」が評価の観点になる。
- ③審査の結果、上位入賞者に対してグランプリ(1 バンド)、準グランプリ(1 バンド)、奨励賞(3 バンド)、特別賞(審査員特別賞・委員長特別賞)を与える。
- ④審査結果は連盟 HP に公表する。
- ⑤参加バンドすべてへ審査員によるコメント用紙を渡す。
- ⑥一般公開、入場無料とする。

※集合時間について引率顧問及び演奏メンバーは、8/3(木)リハーサルは 11:30 まで、8/4(金)本番は 10:15 までに全員揃って受付を済ませること。(時間厳守)

※県大会上位 2 校(グランプリと準グランプリ)が 8/18, 19 に行われる全国大会に出場する権利を有する。
出場校は、当日の参加の可否を確認した上で、大会終了後、その日のうちに以下の手続きで行う。

ア)『全国大会参加申込書』及び『歌詞カード&コンセプト用紙』の記入。

イ) 全国大会参加費¥10,000 の支払い

※その他の決勝ライブについての詳細な要項は予選ライブ以降、決勝大会出場校に配布する。

9 その他

(1) 引率顧問教員には、下記※のような役割として大会運営に参画してもらう。

※①受付 → 演奏生徒、応援生徒・顧問の受付・資料配布・注意事項の説明

②ステージ転換対応 → ステージの転換をスムーズに行うため、演奏生徒のセッティングを補佐する。

③生徒誘導 → チューニング室や舞台横への生徒誘導

④司会 → 大会当日における司会進行

⑤警備・誘導 → 会場内の鍵管理

⑥計時 → ストップウォッチによる演奏時間(5分間)の計時

(2) 大会参加校生徒に大会運営について協力を要請することがある。

(3) 埼玉軽音連によるホームページや冊子に個人が特定されない形での写真の掲載を承諾すること。

(参加申込書を提出した時点で承諾したものとみなす。)

(4) 追加連絡がある場合、連盟 HP <http://music.geocities.jp/keionsaitama/>に随時あげていくので確認すること。また、末尾の事務局だけでなく、問い合わせ先に連盟のメールアドレス

keionsaitama@yahoo.co.jp も活用できる。

(5) 連盟役員が大会記録用にビデオ撮影をする。個人が撮影する場合、撮影を受ける高校の顧問が許可すれば自由だが、電源は各々準備する。ただし、画像・映像の管理には十分注意すること。

(6) 決勝ライブは部員全員で応援することを推奨する。

10 大会に持参しなければならないもの (運営側に準備がないもの)

- ・スネアドラム (ドラマー)
- ・シールドケーブル (5m以上推奨) ※11 細則「機材についての注意」参照
(※市民会館おおみやのステージは広いので7mあった方が安心)
- ・コメントシート
- ・キーボード (スタンド・ステージピアノは連盟で用意あり)
- ・シンバルスタンド (シンバルを追加する場合)
- ・ギター・ベース等の個人楽器
- ・上履き (予選ライブ時)
- ・筆記用具
- ・昼食

1 1 細則

◎ 予選ライブの審査・評価について

以下の場合には受賞対象外（演奏は可能）

(1) 期限を超えてのメンバー変更

※エントリーシート提出後のメンバー変更可能期間は以下の通り

平成 29 年 7 月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|----|----|-----------------------|----|------------------------------|-----|
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 7/1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 エントリーシート 提出期限 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 午前 10:00 まで メンバー変更可 | 22 |
| 23 予選ライブ | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | | | | | | |

※メンバーの減員については「メンバー変更」と見なすので上記のカレンダーを参考にすること
止むを得ずメンバー変更の場合は期限までに事務局へ申し出ること。

(2) エントリーシート提出後のメンバーの追加、または曲目変更

(3) 当日バンドメンバーが受付時間に遅刻、または欠席（体調不良、忌引きなどの理由も受賞対象外となる）

※ただし公共交通機関の大幅な遅延などの場合はこの限りではない

(4) 引率顧問が予選ライブ当日の受付時間に遅刻、または欠席

※引率顧問については同一校の教員であれば代理可

(5) 演奏時間が 5 分を超える

※演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする。

(6) ステージに顧問やコーチ等が上がる。

◎ 演奏順について

・演奏順についてはコンテスト運営委員によるくじ引きで公平に決定する。

◎ 機材についての注意

楽器・アンプ・PA 機材及びオペレータは様々な企業の協力により借用したものである。使用にあたっては細心の注意を払い、くれぐれも破損、故障等のないようにすること。

※連盟として損害賠償責任保険に加入しているが、故意でない機材、設備の破損の場合でも、損害賠償責任保険で補填できる金額の上限は 80 万円であり免責金として、1 万円を当事者が負担しなければならない。

・ギターアンプ、ベースアンプなどのアンプ類は、電圧がかかったままシールドケーブルを抜き差しするなど音を出す手順を間違えると、スピーカーにスイッチングノイズ(ボンッ! というような音)が送られて、機材を傷めてしまうことがある。必ず、以下の手順で操作すること。

1. シールドをつなぐ等、セッティングを終わらせてから、電源のスイッチを入れる準備をする。
2. スwitchを入れる前に、ボリュームがゼロであることを確認する。
3. その際、複数のスイッチがある場合は、スピーカーから遠い機材を先にして電源を付ける。
4. ボリュームをあげて、音量を調整する。

消すときの手順はこの逆になる。

・マイクを振り回したり息を強く吹きかけたり叩いたりしないこと。ハウリングが起きるためマイクをモニタースピーカーに向けるのは厳禁である。

・ドラムのセッティング(タムの位置やシンバルの高さ・角度など)を変えるときは、必ずネジを緩めてから動かすこと。無理に動かしてしまうと、ネジが利かなくなり位置が固定できなくなる。

・「スネア」は各校で持参すること。ドラムを思い切り力任せに叩く生徒を時々見かけるが、決していい音は出ない。ヘッド(打面)を傷めてしまうだけである。また、シンバルが割れないよう大切に扱うこと。

・ボリュームを上げたままでジャックを抜き差ししたり接触不良のシールドを使用したりしたときに出る『ガリガリ』という音は、出力が極端に大きい場合に、音響のシステム全てを壊す恐れがある。ボリュームを下げることを忘れないこと。また、ギターやベースからジャックが抜ける事故を防止するため、シールドケーブルをストラップに通すこと。マイクを落としたときなどに発生する音も、同様の事故につながるがあるので十分注意すること。

・持参する機材(ギター、ベース、キーボード、シールドケーブル等)は、前日までに接触不良等がないか、必ずチェックしておくこと。ステージが広く、シールドケーブルが短いことで宙に浮く状態は大変危険なので、5m以上の長いものを必ず用意する。また、エフェクターの電池は新品のものに交換しておく。スティックは複数本用意しておく。なお、ステージに持参した全てのものに必ず記名をすること。

・アコースティックギターを使用する場合、ピックアップがついている場合は基本的にギターアンプに入力する。ピックアップがない場合、マイクで音を拾うこともできるが、音量に限界があり、バンドでの演奏の場合音が聴こえないなどの問題が起こることがある。(ピックアップの準備を勧める)

・キーボードは連盟で用意しない(スタンドのみ準備あり)ので、各自持ち込み(ACアダプタ・シールドも持ち込み)となる。必要に応じてサスティンペダルまで用意すること。ステージピアノは連盟で用意する。

問い合わせ先 埼玉県高等学校軽音楽連盟

連盟 HP <http://music.geocities.jp/keionsaitama/>

事務局長 黒川 治義

〒333-0846 埼玉県川口市南前川 1-10-1 埼玉県立川口工業高等学校

TEL. 048-251-3081 FAX. 048-250-1252

e-mail kurokawa.haruyoshi.81@spec.ed.jp

エントリー用紙 ③

| | | | |
|-------|--|--|--|
| 連盟使用欄 | | | |
| | | | |

| | |
|--|---------|
| (学校名) | (クラブ名) |
| (バンド名①) | (バンド名②) |
| 連盟加盟団体は 1 バンドにつき 1000 円、非加盟団体は 1 バンドにつき 2,000 円 を振り込んだ納入証明・領収書の原本またはコピーを添付してください。 | |
| 備考欄 | |

セッティング図の記入上の注意

- ・学校名、グループ名、曲名、グループメンバーのフリガナの記入を忘れずに。
- ・ボールペン等黒色のペンで記入すること。(薄い鉛筆だとコピーした際見えなくなる場合有り)
- ・電話番号、FAX 番号、顧問緊急連絡先、校長印を忘れずに。
- ・作詞・作曲(カバーの場合は原曲演奏者)・演奏時間の記入を忘れずに。
- ・メンバーが作詞作曲に関わったもののみがオリジナル曲である。先輩などが過去に作詞、作曲したものなど、提供曲は、公か否かに関わらず、コピー曲として扱う。
- ・エントリー用紙に書かれたグループメンバーから変更は認められない。
- ・ステージ構成表は記入例を参考に、マイクの本数と位置、使うアンプがわかるように記入する。
- ・キーボードは連盟で用意しないので、スタンド以外は各自持ち込み(AC・アダプタ・シールドも持ち込み)となる。必要に応じてサスティンペダルまで用意すること。
- ・キーボードの位置を変えるなどの注文は事前に大会参加申込書の「特殊なセッティング」の欄に記入があらかじめないと、原則として認められないので、記入し忘れないこと。

アウトプットの種類



- ・ドラムのセッティングは入れ替え上、重要な事項となる。左利きセットに該当する人、1タムの人は必ず記入すること。何も記入が無いときは、右利き2タムセットと判断する。
- ・その他、持ち込み機材、特殊セッティングがある場合はエントリー用紙に記入すること。

部活動状況調査アンケート

※記入あるいは、該当する事柄に○で選択を、お願い致します

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|-------------|-------------------|-----------------|--------|----------------|--------|---------------------|--------|--------|---|---|
| 学校名 | 高等学校 | | | | | | 部活名 | 部・同好会 研究会 愛好会 | | | | |
| 学内連絡先 | TEL | — — | | | | FAX | — — | | | | | |
| 顧問氏名 | ① | | | 担当教科 | ② | | | 担当教科 | | | | |
| 顧問連絡先(携帯電話、メールアドレス等) | | | | | | | | | | | | |
| 該当する事柄に○を→ | 学校内・自宅で、メール受信が可 | | | 学校内・自宅で、メール受信が可 | | | | | | | | |
| 部員数(既に引退した3年も含めて下さい) | 総数 | バンド数 | 内訳 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 中学1年 | 中学2年 | 中学3年 | | |
| | 名 | 個 | 男子 女子 | 名 名 | 名 名 | 名 名 | 名 名 | 名 名 | 名 名 | 名 名 | | |
| 活動曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 活動時間 | 平日 | 他() | ～ | ～ |
| 夏休み: | 日間 | 冬休み: | 日間 | 春休み: | 日間 | 日曜: | 日間 | その他: | 日間 | | | |
| 主な練習場所 | 音楽室・視聴覚室・部室・普通教室・体育館・その他() | | | | | | | | | | | |
| 活動形態 | 毎回原則全員出席・バンド別・学年別・男女別の出席・その他() | | | | | | | | | | | |
| 新入生の合奏練習開始() | 学年の | 月の | 時期) | 部員の引退() | 学年の | 月の | 時期) | | | | | |
| 学校からの予算額(年に | 円 | 支給なし) | 部費(年に | 円 | 徴収なし) | | | | | | | |
| 演奏発表の機会 | 校内ライブ(入学者に紹介・新歓・文化祭・中学生に紹介・クリスマス・新年・予餞会 三送会・卒業ライブ・式典で演奏)・他の企画() | | | | | | | | | | | |
| 交流した高校() | 過去に参加した大会・イベント() | | | | | | | | | | | |
| 馴染みの店 | 石橋・大島・大野・小宅・柏屋・サウンドハウス・島村・下倉・昭和・新星堂・ネギシ・平野楽器・専門学校・他() ライブハウス() スタジオ() | | | | | | | | | | | |
| 部活内容 | 専門学校・楽器店・卒業生・上級生・その他()による技術講習会が、年に()回あり オリジナル曲の作成(年間 曲) 合宿:実施が、毎年・不定期(泊 日、場所) 出欠・部活ノート・学内予選・CD,DVD制作・幹部or全部員による会議・部員のML・部別 リズム合わせ・パート別に組む・ホィストレーニング・課題曲orパートを顧問が指定・違う学年でバンドを組む 部のホームページ・奉仕活動()・その他() | | | | | | | | | | | |
| 同一バンドが週に約()時間、校内で合奏可 | 部創設・部昇格の年 | S・H | 年 | 月 | 不明 | 軽音顧問だった他の高校() | 高校 | | | | | |
| 部の懸案 | 部員過多・少なすぎ・活動時間不足・活動場所不足・防音対策・予算の不足・練習への意欲 生徒の規範意識・学習進学への影響・他校への関心不足・技術向上・自主性・計画性・協調性 顧問の指導時間不足・周囲の潜在的イメージ・専門的指導の不足・その他() | | | | | | | | | | | |
| 関心事 | 県大会・全国大会・合同ライブ・生徒向け技術講習会・顧問向け技術講習会・顧問の意見交換会 他校との交流・顧問懇親会・顧問バンド・その他() | | | | | | | | | | | |
| 県大会 | 出場希望・見学希望・将来的は参加を模索・今回は欠席 | 連盟からの今年度の案内 | あって良い・メール連絡で十分・不要 | | | | | | | | | |